

原強プ第18号
平成30年3月1日

島根県知事 溝口善兵衛様

中国電力株式会社
代表取締役副社長執行役員
原子力強化プロジェクト長
小川司徳

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成30年2月9日に開催された、第19回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成22年3月30日付け消防第2738号および平成22年10月19日付け消防第1054号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料
第19回原子力安全文化有識者会議 議事概要

以上

第19回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 平成30年2月9日(金) 14時00分～16時25分
- 開催場所 松江市総合文化センター プラバホール2階 大会議室
- 出席者 **【社外委員】**亀城委員、高尾委員、高橋委員、豊田委員(座長)、野津委員
※梅林委員、山浦委員は欠席
【社内委員】小川原子力強化プロジェクト長、迫谷副社長

○ 議事内容

1. 開会あいさつ(小川幹事)

- ・ただいまから、「第19回原子力安全文化有識者会議」を開催する。
- ・委員の皆さんにはご多用の中、本会議に出席賜りお礼申し上げる。
- ・当社は、点検不備問題や流量計問題のような不正を二度と起こさないという決意のもと、さまざまな再発防止対策の確実な実施に取り組んでいます。今回も最初の議題として、「低レベル放射性廃棄物に係る流量計の不正事案」と「点検不備問題」に係る再発防止対策の取り組み状況について説明する。
- ・2つ目の議題は、「当社の原子力安全文化醸成に向けた取り組み」について報告する。今年度は「中国電力で働くほっこり」の回復に向けて重点的に取り組んでいますが、今年度実施した原子力安全文化アンケートの結果が出たので、分析結果を中心に報告する。
- ・この2つの議題に共通していることは、「地域・社会からの信頼あってこそ原子力発電所」という認識を社員一人ひとりの心に浸透させ、それが社員一人ひとりの行動に表れていくという状態を実現させていきたいということ。再発防止対策や安全文化醸成の取り組みに当たっては、今後も常にこのテーマを意識しながら取り組んでいくので、忌憚のないご意見・ご提言を賜りたい。

2. 議事

- (1) 「低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題」および「点検不備問題」に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて
- (2) 原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて

資料に基づき、電源事業本部部長 古川および原子力強化プロジェクト部長 今浦から「『低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題』および『点検不備問題』に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて」および「原子力安全文化醸成に向けた取り組みについて」を説明した。

主な意見は以下のとおり。

〔再発防止対策の実施状況に対する意見〕

- ・再発防止対策について、細分化し、工程表を示しながら真摯に取り組んでおり、繰り返し丁寧に行っていると思う。
- ・低レベル放射性廃棄物に係る問題について、これまで丁寧に行ってきているが、今後同様なことが起こる可能性はゼロではない。今後も丁寧に原子力安全文化の醸成への努力を継続してもらいたい。

たい。

- ・P D C Aを回しながら、仕事に対するチャレンジ・改善を行うためには、皆が思いを一つにして一丸となって取り組んでいかなければならない。そのためには、「常に問いかける姿勢」に関するアンケートの回答の「そう思う」ができるだけ多くなるようにしていただきたい。

[原子力安全文化醸成に向けた取り組みに対する意見]

- ・社員が、原子力に係る動向をめぐって、プレッシャーや疑問、不安を感じながら、大きく影響を受けている部分があるのではないかと思うので、社員へのケアなど配慮してもらいたい。
- ・「原子力の安全性・必要性について、自信を持って答えられなかった」というのは若い人だと思う。上司から若手社員に対し、自信がなくてヒヤリとしたりハットしたことを話したり、このような話があったということを所内で共有していくこともよいのではないか。

(3) 情報提供：原子力部門人材育成プログラムの実施状況について

(4) 情報提供：島根原子力発電所2号機新規制基準への適合性審査状況について

(5) 情報提供：島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食について

資料に基づき、電源事業本部人材育成センター所長 大田から「原子力部門人材育成プログラムの実施状況について」、電源事業本部部長 岩崎から「島根原子力発電所2号機新規制基準への適合性審査状況について」および「島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクトの腐食について」を情報提供し、質疑を行った。

3. 閉会あいさつ（小川幹事）

- ・委員の皆さんには長時間にわたり貴重なご意見を賜り、感謝申し上げる。
- ・本日説明した取り組みを継続して実施しているが、これらの取り組みが、社員、とりわけ若手社員の心に届き、それが行動に表われ、誇りを持って働くような職場環境を作りあげていきたいと考えている。
- ・これらを通じ、業務運営を適正に保っていく。そのためには、基礎となる「人」の面において、意欲や価値観などが質的に向上する取り組みを続けていきたい。
- ・委員の皆さん方には、貴重なご意見をいただいたことに感謝するとともに、引き続きご支援・ご提言を賜ることをお願いして挨拶とさせていただく。

以上